

インマヌエル中目黒キリスト教会

2016年3月27日聖日礼拝

復活節(イースター)礼拝

「復活の望みに生きる」

ヨブ記 19章13節-29節

竿代照夫牧師

聖書朗読 旧約聖書

ヨブ記

19章13節～29節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています

第二版の聖書は 800 ページ

第三版の聖書は 873 ページ

- 13 神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。
私の知人は全く私から離れて行った。
- 14 私の親族は来なくなり、私の親しい友
は私を忘れた。
- 15 私の家に寄宿している者も、私のはし
ためたちも、私を他国人のようにみな
し、私は彼らの目には外国人のよう
になった。
- 16 私が自分のしもべを呼んでも、彼は返
事もしない。私は私の口で彼に請わな
ければならない。

- 17 私の息は私の妻にいやがられ、私の身内の者らにきらわれる。
- 18 小僧っ子までが私をさげすみ、私が起き上がると、私に言い逆らう。
- 19 私の親しい仲間はみな、私を忌みきらい、私の愛した人々も私にそむいた。
- 20 私の骨は皮と肉とにくっついてしまい、私はただ歯の皮だけでのがれた。
- 21 あなたがた、私の友よ。私をあわれめ、私をあわれめ。神の御手が私を打ったからだ。

- 22 なぜ、あなたがたは神のように、私を追いつめ、私の肉で満足しないのか。
- 23 ああ、今、できれば、私のことばが書き留められればよいのに。ああ、書き物に刻まれればよいのに。
- 24 鉄の筆と鉛とによって、いつまでも岩に刻みつけられたい。
- 25 私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上に立たれることを。
- 26 私の皮が、このようにはぎとられて後、私は、私の肉から神を見る。

- 27 この方を私は自分自身で見る。私の目がこれを見る。ほかの者の目ではない。私の内なる思いは私のうちで絶え入るばかりだ。
- 28 もし、あなたがたが、事の原因を私のうちに見つけて、「彼をどのようにして追いつめようか」と言うなら、
- 29 あなたがたは剣を恐れよ。その剣は刑罰の憤りだから。これによって、あなたがたはさばきのあることを知るだろう。

説教

復活節（イースター礼拝）

「復活の望みに生きる」

ヨブ記

19章13節-29節

竿代照夫牧師

主テキスト

「私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上に立たれることを。私の皮が、このようにはぎとられて後、私は、私の肉から神を見る」

(ヨブ 19 : 25 - 26)

はじめに:

復活への期待は、旧約聖書時代にもあった

1. ヨブの苦しみ

- ・友人から糾弾される

特にビルダデによって(18章)

- ・神は聞いてくださらない

(19章4節、9～11節)

- ・社会全体からも見捨てられている

(19章13～19節)

- ・肉体的苦痛の極みにある

(19章19～20節)

2. 復活の希望

- ・絶望から希望への転換
「私は知る」(19章25節)
- ・贖い主なる神は生きている
神の親近性と救う力
出エジプト記6章6節
- ・贖い主は人間世界に立ち給う
- ・復活に希望をつなぐ
肉体は朽ち果てる(19章26節)が、
別な形での「肉」は存在し、その中で
自分は生きる

2. 復活の希望

- ・新しい形での肉体から、贖い主を個人的に見る。
死後の世界に懐疑的であった(14章14節)。
ヨブが復活信仰に開眼する
- ・贖い主と親しい間柄を持つ
- ・旧約聖書における復活信仰
(出3章6節、創世記22章5節)

終わりに

私たちとヨブとの違い

- ・私たちは、
主イエスの復活の事実を知っている
- ・私たちも復活に与る、と知らされている